

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月25日			
平成15年度	事業コード	21130	電話	042-769-8241
担当部課名	環境保全部	環境保全	課	環境検査 係
事務事業名	環境検査センター管理運営費			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第 1 章	人と自然にやさしい地域社会をつくれます	事業開始年度
基本施策名	第 1 節	地球環境の保全に向けた取り組み	5 年度
施策名	第 3 施策	公害防止対策の推進	

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか		(2)対象(誰、何)	
環境検査センターにおける測定体制を維持管理する。 *環境検査センターは、公害防止の為に環境測定への迅速な対応を可能にすることを設置目的としている。公害関係法令に基づく工場からの排水・排煙等の規制分析業務、河川水・大気・悪臭等の環境分析測定業務、その他環境に関する調査研究を行っている。		市民全般	
		対象数	61.5万人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容			
環境測定(河川水質・工場排水水質・地下水質・工場排煙等の分析)実施に伴う以下の各種使用料の支払い。 ・供給系統(上下水道、電気、燃料等) ・通信系統(電話) また、以下のものについて、委託にて維持管理を行った。 ・警備、清掃、空調管理等			
(4)個別計画の概要		概要	
計画名			
計画年次	年度～	年度	

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
成果指標	経費前年比	対象年度の基本経費(各種使用料・施設維持委託料)/前年度の基本経費×100	前年度と比較して、経費削減がどれだけ図れたかをみる。	99	99	99	93	100
	活動指標	施設の維持管理達成率	委託事業の実施率から達成率をみる。	100	100	100	100	100

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	決算(予算)額	4,060	1,941	2,155	1,768	1,768
	人員・時間数	248時間	248時間	248時間	266時間	266時間
	人件費	1,031	1,031	1,031	1,106	1,106
	その他経費					
費	合計	5,091	2,972	3,186	2,874	2,874
特定財源						
対象数						
対象の単位あたり経費		605,000	610,000	615,000	620,000	625,000
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A：達成している	チェック項目	・成果指標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
	B：一部達成していない		・活動指標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
	C：達成していない		・事業目標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
		説明	施設の維持管理に係る経費は毎年高水準で効率的に運営されている。						
(2)必要性 評価 A ▼	A：適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている						
	B：一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している						
	C：適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない						
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 公害苦情等に迅速かつ柔軟な対応が可能な独自の分析施設として検査センターの存在意義は大きく、その運営・維持管理は不可欠である。						
(3)有効性 評価 A ▼	A：有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である						
	B：一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている						
	C：有効ではない								
		説明	検査センターの稼働により、水質や大気の状態を早期に把握することができる。						
(4)効率性 評価 A ▼	A：優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている						
	B：一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている						
	C：改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている						
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 予算の範囲内で十分な効果をあげている。						
(5)公平性 評価 A ▼	A：公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である						
	B：一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である						
	C：公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)						
		説明	事業の性質上、対象者に対し不公平となることはない。						
成果向上の余地				事業費削減のために取り得る手段と削減額					
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明： 施設維持管理に係る委託内容の見直しを はかり、経費削減の検討を引続き実施していく。			手段	施設清掃委託に係る経費を職員で対応し削減することとした。				
				削減額	71 千円				

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
		水質汚濁防止法などの政令委任を受けている県下の市においても独自の分析施設を運営・管理している。
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 検査センターの運営・維持管理という事業の意義、内容については適切だと思われる。経費については、河川事故等緊急調査の発生率によりセンター稼働率が変動するため管理経費も変動するが今後も可能な範囲で経費削減に努力していく。類似施設との統合化について、検討していく必要がある。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--